

令和 9 (2027) 年度科研費 (特別推進研究、基盤研究 (S)、学術変革領域研究) 募集のご案内

標記の件について、文部科学省及び日本学術振興会より通知 (種目: 特別推進研究、基盤研究 (S)、学術変革領域研究 (A・B)) がありましたのでご案内します。応募を希望される方は、下記の応募方法に従って、必ず「令和 9 (2027) 年度科学研究費助成事業—科研費—公募要領」(以下、「公募要領」) をご確認のうえ、期限までに学内応募手続きを完了して下さい。

e-Rad において、研究代表者及び研究分担者が所属機関への研究インテグリティに係る誓約状況を登録していない場合は応募できませんので、必ず事前に当該情報の登録をしてください。 (II (5) 各種目共通事項参照)。

研究分担者の承諾手続きは、科研費電子申請システム (以下「システム」という。) により学内応募手続き期限までに完了する必要がありますので、お早めにご手配下さい。

I. 「科学研究費助成事業—科研費—」の概要

目的・性格	科学研究費助成事業は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究) を格段に発展させることを目的とする「競争的資金」であり、ピア・レビューにより、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。
本学で公募する研究種目	・特別推進研究 ・基盤研究 (S) ・学術変革領域研究 (A・B)

II. 応募方法

■応募の流れ

- (1) 公募要領の確認
- (2) 今年度の主な変更点の確認
- (3) 応募資格の確認、重複制限の確認
- (4) 各種登録手続き (該当者のみ)
- (5) 研究計画調書 (応募書類) の作成・提出
 - ①研究計画調書作成 (研究分担者の承諾手続き含む)
 - ②研究計画調書提出
 - ③システムで提出完了した旨 (科研に応募する旨) を科研費申請担当者までメールにてご連絡
 - ④researchmap データの確認

■詳細

(1) 公募要領の確認
応募する研究種目の公募要領をご確認頂いた前提で学内応募を受け付けます。 <特別推進研究、基盤研究 (S)> https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/toku_s.html <学術変革領域研究 (A・B)> https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1394559_00016.htm
(2) 今年度の主な変更点の確認
● 学術変革領域研究 (B) の領域代表者の年齢上限を 45 歳以下から 49 歳以下へ引き上げ 「学術変革領域研究 (B)」の領域代表者の年齢上限を 45 歳以下から 49 歳以下へ引き上げます。(「II. 公募の内容 3. 各研究種目の内容 ①学術変革領域研究 (A・B) (2) 学術変革領域研究 (B) キ) 研究領域の構成」参照)
● 学術変革領域研究 (A・B) の領域構成で「45 歳以下を代表とする計画研究を 2 課題以上含むこと」としている年齢要件を 45 歳以下から 49 歳以下へ引き上げ 「学術変革領域研究 (A)」及び「学術変革領域研究 (B)」の領域構成において、「45 歳以下を代表とする計画研究を 2 課題以上含むこと」としている年齢要件を 45 歳以下から 49 歳以下へ引き上げます。

（「Ⅱ. 公募の内容 3. 各研究種目の内容 ①学術変革領域研究（A・B）（1）学術変革領域研究（A） キ）研究領域の構成」及び「Ⅱ. 公募の内容 3. 各研究種目の内容 ①学術変革領域研究（A・B）（2）学術変革領域研究（B） キ）研究領域の構成」参照）

- 学術変革領域研究（B）の公募・審査における「過去の採択研究課題からの発展性」の確認

「学術変革領域研究（B）」の公募・審査において、該当する応募領域については、過去に採択された「挑戦的研究（開拓・萌芽）」及び「創発的研究支援事業」からの発展性を確認することとします。公募要領、研究計画調査及び、審査及び評価に関する規程に関連の記述・様式等が追加されます。

（「Ⅱ. 公募の内容 3. 各研究種目の内容 ①学術変革領域研究（A・B）（2）学術変革領域研究（B） イ）対象」参照）

- 挑戦的研究（萌芽）と基盤研究（C）の重複制限緩和について

若手研究者支援を更に充実させるため、39歳以下を対象として挑戦的研究（萌芽）と基盤研究（C）との重複応募・受給制限を緩和します。なお、重複制限の緩和については、今後の応募状況を踏まえ、審査負担や審査の実効性を考慮しつつ、研究者としてのキャリア形成等にも配慮し、対象範囲を検討していく予定です。

（当該種目の令和9（2027）年度公募要領参照（7月公募開始予定））

- 挑戦的研究（開拓）の審査方式の見直しについて（予定）

挑戦的研究（開拓）の審査方式を見直し、「2段階書面審査」で行う予定です。

（当該種目の令和9（2027）年度公募要領参照（7月公募開始予定））

- 挑戦的研究（萌芽）から挑戦的研究（開拓）への接続強化（「過去の採択研究課題からの発展性」の確認及び「研究計画最終年度前年度応募」の導入）について（予定）

「挑戦的研究（開拓）」の公募・審査において、過去に採択された「挑戦的研究（萌芽）」からの発展性を確認できるよう見直しを行う予定です。また、挑戦的研究（萌芽）で採択された研究課題について、最終年度前年度に挑戦的研究（開拓）に新たに応募することができる「研究計画最終年度前年度応募」について導入する予定です。それに伴い、公募要領、研究計画調査及び、審査及び評価に関する規程に関連の記述・様式等を追加する予定です。詳細は公募要領を参照してください。

（当該種目の令和9（2027）年度公募要領参照（7月公募開始予定））

詳細は、参考『令和9（2027）年度公募における主な変更点等』及び公募要領をご確認下さい。

（3）応募資格の確認、重複制限の確認

「公募要領」及び下記の「本学の科研費有資格職種」を参照し、応募資格の有無をご確認下さい。また、「公募要領」で、応募しようとする研究種目への応募が可能かどうか、「重複制限」のルールを十分ご確認下さい。

本学の科研費有資格職種（研究代表者）

教授、准教授、チャプレン、カウンセラー、特別専任教授、特任教授、特任准教授、助教、教育講師、PD、教育研究コーディネーター、名誉教授、特定課題研究員、日本学術振興会・特別研究員（PD、RPD、DC（研究分担者としてのみ））

※ 下記①～⑤に該当する方が研究代表者、研究分担者として申請する場合は、個別に応募要件を確認させていただきますので、リサーチ・イニシアティブセンター科研費申請担当者（以下、科研費申請担当者）まで必ず事前にご連絡・ご相談下さい。既に研究者情報のe-Radへの登録がお済みの場合でも、下記①～⑤に該当する方は必ずご連絡・ご相談下さい。また、場合によっては、応募を受け付けられない場合もありますので、その旨お含みおき下さい。

※ 特別研究員については、科研費を応募・参画を希望する者にのみ科研費応募資格を付与します。

【事前連絡を必要とする方】

① 任期付職種や定年退職予定者の方で、応募する研究期間中に応募資格の喪失などの理由により、

<p>研究代表者・研究分担者としての責任を果たせなくなることが見込まれる方</p> <p>② 科研費や外部資金で雇用されている方</p> <p>③ PD、教育研究コーディネーター、助教 R のいずれかの職種の方</p> <p>④ 特定課題研究員の方</p> <p>⑤ 日本学術振興会・特別研究員 (PD, RPD, DC) の方</p>
<p>(4) 各種登録手続き (該当者のみ)</p> <p>① 研究者情報の e-Rad への登録 (科研費電子申請システムを利用するための ID・パスワードの取得)</p> <p>② 研究者情報の更新</p>
<p>下記のうち、該当する手続きを行って下さい。</p>
<p>① e-Rad 研究者情報未登録者 (※他機関より本学へ転入し所属機関の変更処理が済んでいない方を含む)</p> <p>「e-Rad 研究者情報登録申請書」を科研費申請担当者までメールにてご提出下さい。登録完了次第、システムを利用するための ID・パスワードを発行いたします。</p> <p>※「e-Rad 研究者情報登録申請書」は、以下のページよりダウンロード可能です。</p> <p>http://www.rikkyo.ac.jp/research/initiative/aid/interior/papers/#erad</p>
<p>② e-Rad 研究者情報既登録者</p> <p>e-Rad の登録内容に修正すべき事項がある場合には、適宜ご修正をお願いします。氏名や生年月日等のグレーアウトしている項目は、事務局のみ修正可能なため科研費申請担当者までご連絡下さい。</p> <p>※研究分担者についても e-Rad の研究者情報が最新の情報に更新されている必要があります。研究組織に研究分担者を加える場合には、その旨を該当者へ個別に連絡・確認のうえ応募して下さい。</p>
<p>(5) 研究計画調書 (応募書類) の作成・提出</p> <p>下記のうち、該当する手続きを行って下さい。</p>
<p>各種目共通事項</p> <p>【応募書類等の取得先】</p> <p>上記「(1) 公募要領の確認」の URL よりご取得下さい。</p> <p>【科研費電子申請システム】</p> <p>https://www.shinsei.jsps.go.jp/kaken/index.html</p> <p>【学内応募手続き期限 (リサーチへの提出期限)】</p> <p>2026 年 5 月 28 日 (木)【厳守】(原則申請書点検 B のみとする)</p> <p>※申請書点検 (B)：主な形式要件 (様式・体裁・研究業績の記載・研究経費) のみ点検。</p> <p>※学術変革領域研究については、領域代表者や計画研究代表者によって状況が異なるため、応募手続き期限等を個別にご案内させていただく場合があります。</p> <p>【研究組織に研究分担者を加える場合の手続きについて】</p> <p>研究組織に研究分担者を加える場合、研究分担者となることの承諾を得る手続きをシステムで行います。研究計画調書をリサーチセンターに提出するまでに、研究代表者はシステムの「応募情報入力画面」の「研究組織」欄に研究組織に研究分担者として加えたい研究者を入力、研究分担者となることを依頼し、承諾を得て下さい。(研究分担者が所属する研究機関からもシステム上で承諾等を経る必要があります。) <u>研究分担者も e-Rad で研究インテグリティ誓約状況が登録されていない場合は応募ができませんので、登録するように伝えてください。</u></p> <p>【研究インテグリティに係る手続きについて】</p> <p><u>e-Rad に登録された研究インテグリティに係る情報を科研費電子申請システムに連携します。当該 e-Rad 上に登録された情報を基に、研究計画調書には必要な情報を入力いただき</u></p>

ます。e-Radにおいて、研究代表者及び研究分担者が所属機関への研究インテグリティに係る誓約状況を登録していない場合は応募できませんので、必ず事前に当該情報の登録をしてください。

【研究インテグリティに係る誓約状況の操作方法】

1. 研究者のアカウントでe-Radにログイン
2. メニューの右上の（ユーザ氏名）＞「研究者情報の確認・修正」をクリック＞「所属研究機関」タブを選択
3. 「e-Rad外の研究費の状況および役職と所属機関への届け出状況」を適宜修正し、（3）誓約状況の「報告している」にチェックを入れる
4. 入力した内容を確認し、問題がなければ「この内容で登録」ボタンをクリック
5. 研究者情報を修正した旨のメッセージが表示されれば完了
6. 通常は10分程度で科研費電子申請システムに連携されますが、応募締切直前に登録しても連携されない可能性があるため、時間に余裕をもってe-Radへ登録してください。

「届け出状況」の記載に当たっては、e-RadのFAQも適宜ご参照ください。

「e-Rad外の研究費の状況および役職と所属機関への届け出状況」の記載ルールについて

https://qa.e-rad.go.jp/records/420#.ZhX_GHbP2Uk

①特別推進研究、基盤研究（S）に応募する場合

【学内応募手続き】

応募に必要な書類は『研究計画調書』です。『研究計画調書』は、「Web入力項目」（システムによりWeb上で入力）と「添付ファイル項目」の2つで構成されます。「Web入力項目」を入力するとともに、別途作成する「添付ファイル項目」をシステムにアップロードして研究計画調書（PDFファイル）を作成します。

- ① 応募する研究種目の「研究計画調書（Web入力項目）作成・入力要領」（以下、「入力要領」）及び「研究計画調書作成・記入要領」（以下、「記入要領」）を熟読のうえ、『研究計画調書』（「Web入力項目」「添付ファイル項目」）を作成して下さい。「Web入力項目」を作成する際には、システムにログインして作成します。
- ② システムより、所属研究機関への『研究計画調書』の提出処理（確認完了・提出処理）を完了して下さい。（リサーチ・イニシアティブセンターに届きます。）
- ③ 応募書類を提出した旨を科研申請担当 kaken-shinsei@rikkyo.ac.jp にご連絡ください。
- ④ （審査開始まで）researchmap上のデータ（研究者番号及び論文等の必要情報）が登録され最新の状態になっているか必ず確認をして下さい。

②学術変革領域研究（A・B）に応募する場合

【学内応募手続き】

- ① 応募を希望される方は、必ず、公募要領をご確認のうえ、**5月15日（金）**までに、リサーチ・イニシアティブセンターまでご連絡ください。応募締切等について個別にご案内いたします。なお、計画研究代表者の場合は、領域代表者に、いつまでに応募書類を提出する必要があるかあらかじめご確認のうえ、ご連絡ください。
- ② 「応募書類の様式・記入要領」（以下、「記入要領」）を熟読のうえ、応募する研究種目について確認し、作成をしてください。「Web入力項目」を作成する際には、システムにログインして作成します。
- ③ システムより、所属研究機関への応募書類の提出処理（確認完了・提出処理）を完了して下さい。（リサーチ・イニシアティブセンターに届きます。）
- ④ 応募書類を提出した旨を科研申請担当 kaken-shinsei@rikkyo.ac.jp にご連絡ください。
- ⑤ （審査開始まで）researchmap上のデータ（研究者番号および論文等の必要情報）が登録され最新の状態になっているか必ず確認をして下さい。

<応募にあたっての注意点など>

- ・ 研究種目ごとに「入力要領」、「記入要領」、「研究計画調書」等の資料・様式が異なりますので、必ず所定の資料・様式を使用して下さい。また、必ず最新の資料・様式をご使用下さい。
- ・ 文部科学省または日本学術振興会への応募書類の提出処理は、科研費申請担当が行いま

す。上記【学内応募手続き】の提出処理（確認完了・提出処理）を行っても配分機関（文部科学省、日本学術振興会）に直接提出されることはありません。

- 提出頂いた応募書類を科研費申請担当者が点検し、不備等がある場合は配分機関（文部科学省、日本学術振興会）へ提出して差し支えない書類となるまで修正をお願いすることになりますので、予めお含みおき下さい。

III. 応募から交付までのスケジュール（詳細は「公募要領」をご確認下さい）

令和8年	4月10日（金）	公募開始（公募要領、申請様式等発表）
	4月16日（木）	学内公募案内（種目共通）
	5月15日（金）	学術変革領域研究（A・B）を申請希望の場合の科研申請担当者への連絡期限（特推、基盤Sについては不要）
	<u>5月28日（木）</u>	<u>学内応募手続き期限</u> （種目共通）
	6月16日（火）	配分機関の公募締切（種目共通）（午後4時30分まで）
令和9年	1月上旬	審査結果通知（特別推進研究）
	2月中旬	審査結果通知（基盤研究（S）） 審査結果通知（学術変革領域研究（A・B））

IV. その他

- リサーチ・イニシアティブセンターでは、科研費申請におけるサポートプログラムを実施しています。積極的にご活用下さい。なお、本プログラムはすべて日本語で実施します。プログラムの詳細は有資格者にメールでご案内いたします。
- また、外部の専門業者（ロバスト社）による申請書レビュー・アドバイスサービスについても、有資格者にメールでご案内いたします。
- 審査委員が審査の際に研究代表者及び研究分担者の researchmap 掲載情報を必要に応じて参照する取扱いとなっておりますので、審査開始までに researchmap 上のデータが最新の状態になっているか必ず確認をして下さい。

V. 本件に関するお問合せ

リサーチ・イニシアティブセンター（科研費申請担当者）

【池袋キャンパス（12号館2階）】

内線：3833、4656 e-mail：kaken-shinsei@rikkyo.ac.jp